

4. 最澄と空海

- 最澄…**天台宗**/[総本山]比叡山延暦寺(京都府)/[著書]『山家学生式』(How to 育成 お坊さん?)『顯戒論』(僧侶の資格を得るときに戒(僧侶として守るべき規律)を頂く。それは、従来の奈良仏教では小乗戒だったが、そうではなくて、大乘菩薩戒によって僧になる方がいいのでは?という主張。)
- 〈教義〉法華経(天台宗の中心経典)説く一乗思想を信じ、これをブツダ本来の教えとする。誰もが仏性を持っているので、自分の本性を自覚し修行をすれば、真理を悟り、成仏できるとした。人の素質により仏になれるかどうかの差があるとした南都仏教を批判。
- ・戒壇…戒壇(僧の資格「戒」を授ける場所)を比叡山にも作る→死後に実現。南都六宗から独立
 - ・(法華)一乗思想…さまざまな教えの本質・根本は一つであり、個人の資質に関係なく、すべての人が仏になれるという考え
 - 「山川草木悉皆成仏」(自然の山川や草木という心を持たないものでさえも、仏性は備えており、みんな仏になる資質がある) ⇔ 南都(奈良)仏教(仏になれる人は限られている)を批判・対立
 - ・四宗兼学…天台・密教・戒律・禪を包括する総合仏教
- 空海…**真言宗**/[総本山]高野山金剛峰寺(和歌山県)/[嵯峨天皇から賜る]東寺(教王護国寺)(京都府)/[庶民のための学校]綜芸種智院/[著書]『三教指帰』(儒・仏・道の3教の教えを比較して、仏教がもっとも優れていると主張)『十住心論』(空海の思想の集大成。種々の既存の宗教観を織り交ぜて総合的に位置づけ、大日如来を中心とする悟りに到る道のりを段階的に論じる)
- 〈教義〉長い時間の修行によりはじめて成仏できるという他の宗派を批判。三密と呼ばれる神秘的な行(秘密の教え=密教)を行えば大日如来と一体化し、即身成仏できるとした。
- ・密教…言葉では伝えきれない秘密の教え(⇔顯教…言葉に示され理論的に学べる普通の仏教)
 - 東密(東寺の密教)・真言密教と呼ばれ、真言宗が代表的。のちに天台宗も密教化(台密)
 - ・大日如来(毘盧遮那仏)…密教の最高仏。一切の如来・菩薩・神々を包摂する、宇宙の真理そのもの
 - ・三密…身密・口密・意密の3つの行。身に印契(印・印相とも。仏の神秘的な力を象徴する指や手の形)を結び、口に真言を唱え、心が仏を感じるということ。これによって即身成仏できるとした。
 - ・真言…サンスクリット語のマントラの漢訳。神聖で神秘的な力を持つ呪文。(ex. オン・○×〜〜ソワカ)
 - ・即身成仏…この身がそのまま仏になるということ。真言宗の思想の中心であり、三密の行により大日如来と同一化すると考えられた。現世利益に重きを置く平安仏教の特色を反映している。
 - ・曼荼羅…大日如来中心の宇宙の真理を表現。
 - ・胎蔵界曼荼羅…仏の慈悲を表す理の曼荼羅
 - ・金剛界曼荼羅…行による智の獲得過程を表す智の曼荼羅

センター問題に挑戦! No.4 (2001年本試) [易]

比叡山に延暦寺を建立した最澄の思想についての記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 正しい仏教を樹立することによって、立正安国が達成されると主張した。
- ② 『法華経』の教えを中心とし、すべての衆生に仏性があることを強調した。
- ③ ひたすら修行をすることが、そのまま悟りの証であると説いた。
- ④ 宇宙の諸事象は、すべて大日如来のあらわれであると説いた。

[No.3の答 ① ②×絶対神⇒日本は一神教ではない。×契約 ③×恩恵だけをもたらす⇒神=畏れ(恵み・崇り)の存在。

- ④×仏の怒りを招く⇒新しい外国の神に対して、そこまでへりくだるわけがない。文章もちぐはぐ。]